

平成 21 年 3 月 19 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名  
 東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号  
 六本木ヒルズ森タワー  
 ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人  
 代表者名 執行役員 鈴木 博之  
 (コード番号: 8981)

資産運用会社名  
 ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社  
 代表者名 代表取締役 鈴木 博之  
 問合せ先 管理本部長 板橋 昇  
 TEL. 03-6439-0333

資金の借入れ（利率決定）に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）が、平成 21 年 2 月 9 日に借入先と調印致しました基本合意書変更契約、及び、タームローン契約書（ファシリティ E、F）に基づき、平成 21 年 3 月 24 日に実行予定のファシリティ E、F について、下記の金利適用期間における利率が決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

区分	種別	借入先	借入金額 (百万円)	返済期限	金利計算期間	利率 (年率)	摘要
中期	ターム ローン E (注 1)	株式会社 三井住友銀行	4,200	平成 24 年 3 月 23 日	平成 21 年 3 月 24 日から 平成 21 年 9 月 24 日まで (注 2)	2.14917% (注 4)	有担保
		株式会社 みずほ銀行					
		農林中央金庫					
中期	ターム ローン F (注 1)	株式会社 三井住友銀行	1,500	平成 24 年 3 月 23 日	平成 21 年 3 月 24 日から 平成 21 年 9 月 24 日まで (注 3)	1.84917% (注 4)	有担保
		株式会社 みずほ銀行					
		農林中央金庫					

- (注1) タームローン E、F 計 57 億円は、敷金の有効活用 20 億円、及び、社内留保金額 10 億円と合わせ、既存タームローン（ファシリティ C 借入残額 87 億円、返済期限平成 21 年 3 月 24 日）の返済に充当されます。
- (注2) 金利計算期間につきましては、本投資法人が平成 21 年 2 月 9 日付で締結した「基本合意書変更契約」及び「タームローン契約書（ファシリティ E）」で定められた金利計算期間を記載しております。
- (注3) 金利計算期間につきましては、本投資法人が平成 21 年 2 月 9 日付で締結した「基本合意書変更契約」及び「タームローン契約書（ファシリティ F）」で定められた金利計算期間を記載しております。
- (注4) 基準金利（6ヶ月円 TIBOR）にスプレッドを加算した利率です。なお、融資手数料の年償却率は含みません。

【参考資料】

有利子負債の状況

区分 (注1)	種別	借入先	借入残額 (百万円) (注2)	直近利率	金利 計算期間	返済期限	ヘッジ手段	返済方法	摘要
中期	ターム ローン B	株式会社 三井住友銀行	12,753	1.28917% (注3)	平成20年11 月14日から 平成21年5 月15日まで	平成24年 11月15日	金利 スワップ (注4)	期限一括	有担保
		株式会社 みずほ銀行							
		農林中央金庫							
中期	ターム ローン D	株式会社 三井住友銀行	19,000	1.98167%	平成21年2月 13日から 平成21年8月 14日まで	平成23年 2月15日	スプレッド 型 金利キャッ プ(注5)	期限一括	有担保
		株式会社 みずほ銀行							
		農林中央金庫							
中期	ターム ローン E	株式会社 三井住友銀行	4,200	2.14917%	平成21年3月 24日から平 成21年9月24 日まで	平成24年 3月23日	—	期限一括	有担保
		株式会社 みずほ銀行							
		農林中央金庫							
中期	ターム ローン F	株式会社 三井住友銀行	1,500	1.84917%	平成21年3月 24日から平 成21年9月24 日まで	平成24年 3月23日	—	元本均等	有担保
		株式会社 みずほ銀行							
		農林中央金庫							

(注1) 短期とは1年以下、中期とは1年超5年未満、長期とは5年以上の借入れをいいます。

(注2) 百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注3) 利率は変動金利の利率(年率)を記載しております。平成19年11月16日以降、金利スワップにより固定化した利率は、平成19年9月21日付「金利スワップ契約締結に関するお知らせ(契約締結先及び利率決定)」で本投資法人が発表した金利スワップ契約締結(固定支払利率:1.4585%)により、1.9085%になります。

(注4) 平成19年9月20日付で公表した金利スワップは、上記タームローンBをヘッジ対象として適用されます。詳細につきましては、本投資法人が発表した平成19年9月20日付「金利スワップ取引の決定に関するお知らせ」及び平成19年9月21日付「金利スワップ契約締結に関するお知らせ(契約締結先及び利率決定)」をご覧ください。

(注5) 平成18年6月23日付で購入したスプレッド型金利キャップは、上記タームローンDをヘッジ対象として、引き続き適用されます。詳細につきましては、本投資法人が発表した平成18年6月23日付「スプレッド型金利キャップ購入に関するお知らせ」及び平成18年7月14日付「(訂正)スプレッド型金利キャップ購入に関するお知らせ」をご覧ください。

以上

\*本日資料の配布先: 兜クラブ、国土交通省記者会、国土交通省建設専門紙記者会

\*本投資法人のホームページアドレス: <http://www.jhrth.com/>